

49-A-051 骨について正しいのはどれか。

1. 骨芽細胞は骨吸収に関与している。
2. 緻密骨と海綿骨とに分けられる。
3. 幼児期の骨髄は黄色骨髄である。
4. 関節面は滑膜で覆われている。
5. 短骨には髄腔がある。

49-A-052 立方骨に接していないのはどれか。

1. 踵骨
2. 舟状骨
3. 第1楔状骨
4. 第4中足骨
5. 第5中足骨

49-A-053 肩甲骨に付着する筋とその起始の部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 棘上筋——上角
2. 小胸筋——烏口突起
3. 前鋸筋——外側縁
4. 肩甲挙筋——肩甲棘
5. 上腕二頭筋長頭——関節下結節

49-A-054 足関節の背屈を起こす筋はどれか。2つ選べ。

1. 前脛骨筋
2. 長排骨筋
3. 後脛骨筋
4. 長趾屈筋
5. 第三排骨筋

49-A-055 側頭葉にあるのはどれか。2つ選べ。

1. 角回
2. 歯状回
3. 帯状回
4. 海馬傍回
5. 中心前回

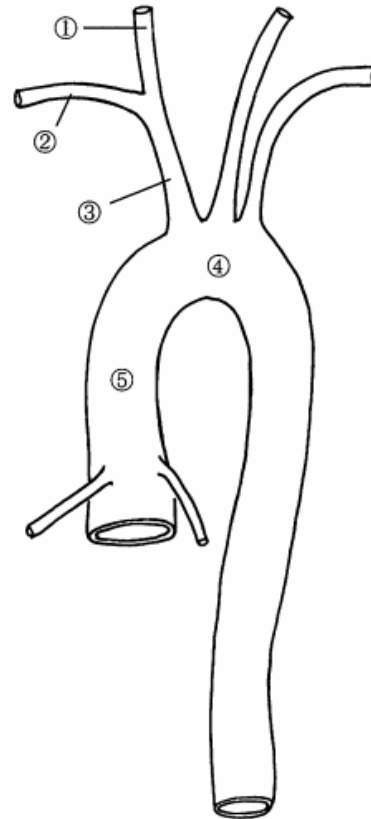
49-A-056 大脳基底核に含まれないのはどれか。

1. 被殻
2. 網様体
3. 淡蒼球
4. 尾状核
5. 扁桃核

49-A-057 腕神経叢の中で最も近位から分岐する神経はどれか。

1. 尺骨神経
2. 腋窩神経
3. 長胸神経
4. 肩甲上神経
5. 内側上腕皮神経

49-A-058 正面から見た大動脈の模式図を示す。番号と血管名の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。



1. ①——右総頸動脈
2. ②——右鎖骨下動脈
3. ③——下行大動脈
4. ④——胸大動脈
5. ⑤——腕頭動脈

49-A-059 体表から触れることができる腱を図に示す。番号と名称の組合せで正しいのはどれか。



1. ①——長母指屈筋腱
2. ②——腕橈骨筋腱
3. ③——浅指屈筋腱
4. ④——深指屈筋腱
5. ⑤——尺側手根屈筋腱

49-A-060 手根管を通らないのはどれか。

1. 滑液鞘
2. 正中神経
3. 尺骨神経
4. 長母指屈筋腱
5. 示指の浅指屈筋腱

49-A-061 筋におけるタイプ II b 線維と比べたタイプ I 線維の特徴はどれか。2つ選べ。

1. 持久力のある筋肉において比率が高い。
2. 周囲組織の毛細血管が密である。
3. ヒラメ筋において比率が低い。
4. ミオグロビン量が少ない。
5. ミトコンドリアが少ない。

49-A-062 頸動脈洞反射で正しいのはどれか。

1. 頻脈になる。
2. 血圧が上昇する。
3. 化学的刺激によって生じる。
4. 求心路は舌下神経を介する。
5. 遠心路は迷走神経を介する。

49-A-063 運動単位について正しいのはどれか。

1. 運動単位には求心性線維が含まれる。
2. 活動電位の発射頻度は 200 回/秒を超える。
3. 精密な働きをする筋では神経支配比が大きい。
4. 同じ運動単位の筋線維は同一の筋線維タイプからなる。
5. 筋を徐々に収縮すると大きな運動単位が先に活動を始める。

49-A-064 随意運動に関与しないのはどれか。

1. 小脳
2. 内包
3. 大脳脚
4. 視床下部
5. 中心前回

49-A-065 呼吸運動の促進要因として正しいのはどれか。

1. 気道の拡張
2. 四肢の運動
3. 髄液の pH 上昇
4. 動脈血酸素分圧の上昇
5. 肺泡二酸化炭素分圧の低下

49-A-066 ヒトの免疫機構で正しいのはどれか。

1. B 細胞は抗体を産生する。
2. 好中球はサイトカインを産生する。
3. キラーT 細胞は他の免疫細胞を破壊する。
4. ヘルパーT 細胞は免疫反応の抑制に働く。
5. 副腎皮質ホルモンは免疫機能を亢進させる。

49-A-067 腎臓の機能で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 体温の調節
2. 尿量の調節
3. 血漿量の調節
4. 白血球数の調節
5. 概日リズムの調節

49-A-068 下垂体後葉から分泌されるホルモンはどれか。2つ選べ。

1. グレリン
2. エストロゲン
3. オキシトシン
4. バソプレシン
5. アルドステロン

49-A-069 質量  $m$  の物体を傾斜角度  $\theta$  の斜面に沿って距離  $L$  だけ引き上げ、高さ  $H$  まで持ち上げた。

このときの仕事量  $W$  で正しいのはどれか。

ただし、摩擦は無視できるものとし、重力加速度を  $g$  とする。

1.  $m \cdot L$
2.  $m \cdot g \cdot H$
3.  $m \cdot g \cdot L$
4.  $m \cdot g \cdot \sin \theta \cdot H$
5.  $m \cdot g \cdot \cos \theta \cdot H \cdot L \cdot \sin \theta$

49-A-070 肩甲上腕関節の外旋筋はどれか。

1. 大胸筋
2. 肩甲下筋
3. 大円筋
4. 小円筋
5. 広背筋

49-A-071 指尖つまみに比べ横つまみでより働く筋はどれか。

1. 短掌筋
2. 虫様筋
3. 短母指伸筋
4. 短母指外転筋
5. 第1背側骨間筋

49-A-072 筋と股関節の運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 縫工筋——外旋
2. 小殿筋——内転
3. 梨状筋——内旋
4. 大殿筋——屈曲
5. 大腿方形筋——屈曲

49-A-073 立位姿勢について正しいのはどれか。

1. 重心動揺は閉眼にて減少する。
2. 重心動揺は年齢によって変化しない。
3. 立位時に股関節の Y 靭帯は弛緩する。
4. 安静立位時にヒラメ筋の持続的筋収縮がある。
5. 立位時の重心の位置は第1腰椎の後方にある。

49-A-074 正常歩行時の矢状面における重心移動について正しいのはどれか。

1. 歩行速度が増すと重心軌道の高低差は小さくなる。
2. 1歩行周期において重心軌道は1峰性を示す。
3. 重心の移動速度は立脚中期で最も速くなる。
4. 重心が最も高くなるのは荷重反応期である。
5. 重心が最も低くなるのは踵接地期である。

49-A-075 心筋梗塞の合併症として誤っているのはどれか。

1. 心室頻拍
2. 下肢静脈瘤
3. 肩手症候群
4. 僧帽弁逆流
5. 心室中隔穿孔

49-A-076 良性腫瘍と比較した悪性腫瘍の特徴はどれか。

1. 異型性が低い。
2. 播種がみられる。
3. 細胞の分化度が高い。
4. 圧排性の発育形式をとる。
5. 周囲との境界が明瞭である。

49-A-077 小脳橋角部腫瘍で最も多いのはどれか。

1. 髄膜腫
2. 下垂体腺腫
3. 視神経膠腫
4. 聴神経腫瘍
5. 頭蓋咽頭腫

49-A-078 飛沫感染するのはどれか。

1. MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
2. インフルエンザウイルス
3. Clostridiumdifficile
4. B型肝炎ウイルス
5. 緑膿菌

49-A-079 正しい組合せはどれか。

1. Adler——リビドー
2. Freud——病的人格
3. Jung——劣等コンプレックス
4. Kretschmer——体型分類
5. Schneider——内向・外向

49-A-080 中学生の心理発達における特徴はどれか。

1. 性の相違を理解する。
2. 自我同一性が完成する。
3. 教師や指導者に従順である。
4. 第二次性徴への戸惑いがある。
5. 友人関係より親子関係を重視する。

49-A-081 前頭葉機能検査はどれか。

1. SCT
2. TEG
3. MMPI
4. MMSE
5. WCST

49-A-082 病態と薬物療法の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩手症候群——免疫グロブリン製剤
2. 視床痛——A型ボツリヌス毒素製剤
3. 症候性てんかん——抗血小板薬
4. 深部静脈血栓症——抗凝固薬
5. 夜間せん妄——睡眠導入薬

49-A-083 臥床による筋への影響として正しいのはどれか。

1. 最大筋腹の太さは保たれる。
2. 手内筋は数日で著明な筋力低下が生じる。
3. 上肢筋に比べ下肢筋で筋力低下が大きい。
4. 下肢筋では1週間に50%の筋力低下が生じる。
5. 筋細胞膜のアセチルコリン感受性の増強が生じる。

49-A-084 抗 Parkinson 病薬の長期投与によって生じうる症状として誤っているのはどれか。

1. 高血圧
2. on-off 現象
3. 精神症状の出現
4. Wearing-off 現象
5. 不随意運動の増強

49-A-085 改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査(JDDST-R)において90%通過率が6~8か月なのはどれか。

1. 手に持ったビスケットを自分で食べる。
2. 手に持ったコップから自分で水を飲む。
3. 声(呼びかけ)に振り向く。
4. つたい歩きができる。
5. 人の顔を見つめる。

49-A-086 男性に多い疾患はどれか。

1. 全身性エリテマトーデス
2. Sjögren 症候群
3. 強直性脊椎炎
4. 線維筋痛症
5. 強皮症

49-A-087 足関節靭帯損傷で最も頻度が高いのはどれか。

1. 三角靭帯
2. 踵腓靭帯
3. 前距腓靭帯
4. 後距腓靭帯
5. 前脛腓靭帯

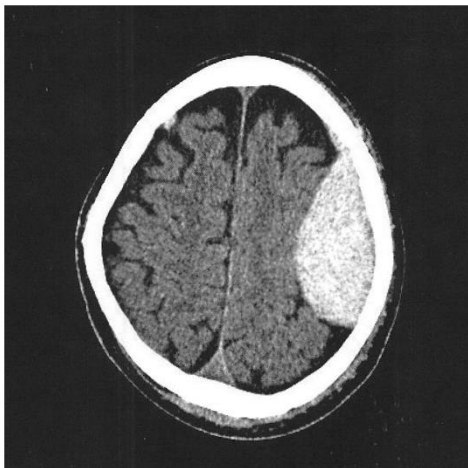
49-A-088 膝関節血腫を生じやすいのはどれか。

1. 偽痛風
2. 血友病
3. 滑膜ヒダ障害
4. ジャンパー膝
5. 変形性膝関節症

49-A-089 重症筋無力症で正しいのはどれか。

1. 女性より男性に多く発症する。
2. 四肢では遠位筋の筋力低下が起きやすい。
3. 夕方にかけて症状は軽快する。
4. 末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
5. コリンエステラーゼ阻害薬が用いられる。

49-A-090 頭部 CT を示す。所見として考えられるのはどれか。



1. 硬膜外血腫
2. 硬膜下血腫
3. 皮質下出血
4. くも膜下出血
5. 脳動静脈奇形

49-A-091 絞扼性神経障害と症状・検査の組合せで正しいのはどれか。

1. 斜角筋症候群——Wright テスト
2. 肘部管症候群——Spurling テスト
3. 前骨間神経麻痺——Froment 徴候
4. 後骨間神経麻痺——Finkelstein テスト
5. 手根管症候群——Phalen テスト

49-A-092 僧帽弁狭窄症による心不全で初期からみられるのはどれか。

1. 頸静脈怒張
2. 呼吸困難
3. 肝脾腫
4. 高血圧
5. 浮腫

49-A-093 脳性麻痺の周産期における危険因子として可能性が低いのはどれか。

1. 緊急帝王切開による出生
2. 脳室周囲白質軟化症
3. 低カリウム血症
4. 新生児仮死
5. 低血糖

49-A-094 身体障害者障害程度等級表による内部障害でないのはどれか。

1. 代謝機能障害
2. 心機能障害
3. 小腸機能障害
4. 膀胱機能障害
5. 呼吸器機能障害

49-A-095 外傷後の RICE に含まれないのはどれか。

1. 止血
2. 安静
3. 氷冷
4. 圧迫
5. 拳上

49-A-096 Lewy 小体型認知症に特徴的なのはどれか。

1. 幻視
2. 感情失禁
3. 滞続言語
4. 錐体路徴候
5. 時刻表的行動

49-A-097 統合失調症について正しいのはどれか。

1. 男性が女性より 3 倍多い。
2. 緊張型では昏迷がみられる。
3. 病前性格は循環気質が多い。
4. 死亡率は健常者と同じである。
5. 妄想型は破瓜型より発症年齢が低い。

49-A-098 Alzheimer 型認知症について正しいのはどれか。

1. 階段状に増悪する。
2. 女性より男性に多い。
3. 意味記憶の障害で発症することが多い。
4. 人物の見当識より時間の見当識が障害されやすい。
5. 軽度認知障害の 80%は Alzheimer 型認知症に移行する。

49-A-099 神経症性障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 全般性不安障害では疾病利得がみられる。
2. 強迫行為では不合理と思いつつも繰り返し手を洗う。
3. 離人症では自分がとても重い病気ではないかと心配する。
4. 社交恐怖では自分が見捨てられるのではないかと心配する。
5. 予期不安ではパニック発作がまた起きるのではないかと心配する。

49-A-100 小学2年生の女儿。学校では一言も話さない。うなずきなどのジェスチャーでコミュニケーションは可能。自宅では普通に会話ができる。考えられるのはどれか。

1. 読字障害
2. 選択性緘黙
3. Rett 症候群
4. 広汎性発達障害
5. Tourette 症候群

49-P-051 関節の形状で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩甲上腕関節は橢円関節である。
2. 腕尺関節はらせん関節である。
3. 橈骨手根関節は顆状関節である。
4. 手根間関節は鞍関節である。
5. 母指の手根中手関節は球関節である。

49-P-052 大腿骨について正しいのはどれか。

1. 頸部は後捻している。
2. 骨幹部は後弯している。
3. 外側顆は内側顆より大きい。
4. 骨頭窩は骨頭の外側にある。
5. 大転子は小転子より近位にある。

49-P-053 筋と付着部の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 腸腰筋——小転子
2. 縫工筋——腸骨稜
3. 大腿直筋——下前腸骨棘
4. 長内転筋——坐骨結節
5. 内側広筋——粗線外側唇

49-P-054 舌の運動を支配する神経の神経核があるのはどれか。

1. 間脳
2. 中脳
3. 橋
4. 延髄
5. 脊髄

49-P-055 相貌失認に関与するのはどれか。

1. 海馬
2. 角回
3. 乳頭体
4. 紡錘状回
5. 前脳基底部

49-P-056 筋紡錘の求心性神経はどれか。2つ選べ。

1. Ia 神経線維
2. Ib 神経線維
3. II 神経線維
4. III 神経線維
5. IV 神経線維

49-P-057 味覚を支配するのはどれか。2つ選べ。

1. 滑車神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 副神経
5. 舌下神経

49-P-058 呼吸器について正しいのはどれか。

1. 上気道とは鼻腔から咽頭までのことをいう。
2. 終末細気管支分岐の次は肺胞である。
3. 気管支は右より左の方が太く短い。
4. 輪状軟骨は弾性軟骨である。
5. 左肺門は右より高位である。

49-P-059 外胚葉に由来するのはどれか。2 つ選べ。

1. 皮膚の表皮
2. 結合組織
3. 消化管上皮
4. 神経
5. 骨

49-P-060 二重に神経支配を受けないのはどれか。

1. 手の虫様筋
2. 上腕筋
3. 恥骨筋
4. 大内転筋
5. 縫工筋

49-P-061 皮膚感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

1. 痛覚——自由神経終末
2. 温覚——Pacini(パチニ)小体
3. 冷覚——Meissner(マイスネル)小体
4. 触覚——Krause(クラウゼ)小体
5. 庄覚——Ruffini(ルフィニ)終末

49-P-062 複合感覚に含まれないのはどれか。

1. 重量覚
2. 部位覚
3. 立体覚
4. 関節位置覚
5. 二点識別覚

49-P-063 運動負荷による臓器への血流配分について正しいのはどれか。

1. 冠血流は減少する。
2. 肝血流は減少する。
3. 腎血流は増加する。
4. 脳血流は増加する。
5. 皮膚血流は減少する。

49-P-064 自律神経について正しいのはどれか。

1. 交感神経刺激は膀胱を収縮させる。
2. 交感神経刺激は心筋の収縮力を低下させる。
3. 副交感神経刺激は消化管運動性を低下させる。
4. 副交感神経刺激は唾液分泌を抑制する。
5. 副交感神経刺激は縮瞳を引き起こす。

49-P-065 心臓で正しいのはどれか。

1. 収縮期に冠血管の血流は増加する。
2. 心筋は伸張されると収縮力が低下する。
3. 左心室と左心房とは同時に収縮が始まる。
4. ノルアドレナリンは心筋収縮力を増加する。
5. 心筋の収縮は主に水素イオンの細胞内流入によって生じる。

49-P-066 糖質代謝について正しいのはどれか。

1. ピタミン C が補酵素として関与する。
2. 酸化的リン酸化によって乳酸を生じる。
3. 中枢神経は脂肪酸をエネルギー源とする。
4. グルカゴンは糖新生系の生合成を促進する。
5. 甲状腺ホルモンは糖質代謝には関係しない。

49-P-067 排便に関与する体性神経はどれか。

1. 陰部神経
2. 下殿神経
3. 下腹神経
4. 骨盤神経
5. 上殿神経

49-P-068 基礎代謝について正しいのはどれか。

1. 男性は女性より低い。
2. 過食によって低下する。
3. 老化に伴い上昇する。
4. 寒冷の環境に慣れた人は低下する。
5. 副腎髄質ホルモンによって上昇する。

49-P-069 骨格筋の筋張力で誤っているのはどれか。

1. 活動張力は筋長が長くなるほど大きくなる。
2. 全張力から静止張力を引くと活動張力が得られる。
3. 求心性運動では速度が速いほど最大筋張力が小さい。
4. 筋張力が一定の場合、短縮速度は負荷が小さいほど速い。
5. 遠心性運動は求心性運動より大きな筋張力を発揮することができる。

49-P-070 上肢の関節について誤っているのはどれか。

1. 腕橈関節は球関節である。
2. 上橈尺関節は車軸関節である。
3. 肘の生理的内反の角度を運搬角という。
4. 肘頭は肘屈曲位で Huter 三角を構成する。
5. 腕尺関節は上橈尺関節と同一の関節包内にある。

49-P-071 足について正しいのはどれか。

1. 距腿関節の運動軸は膝軸に対して内捻  $5\sim 15^\circ$  である。
2. 舟状骨は外側縦アーチを構成している。
3. 背屈運動により果間距離は拡大する。
4. Lisfranc 関節では内外旋が生じる。
5. Böhler 角は  $40\sim 50^\circ$  である。

49-P-072 筋と体幹の運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 外腹斜筋——同側への回旋
2. 最長筋——伸展
3. 腹横筋——側屈
4. 腹直筋——伸展
5. 腰方形筋——屈曲

49-P-073 正常歩行の全歩行周期に渡って筋活動がみられるのはどれか。

1. 下腿三頭筋
2. 大腿四頭筋
3. ハムストリングス
4. 中殿筋
5. 脊柱起立筋

49-P-074 運動学習において部分法に最も適している動作はどれか。

1. 歩行
2. 食事動作
3. 階段の降段
4. リーチ動作
5. 立ち上がり動作

49-P-075 アテローム(粥状)硬化が関与する病態はどれか。

1. 慢性収縮性心膜炎
2. 慢性閉塞性肺疾患
3. 内頸動脈狭窄症
4. 椎骨動脈解離
5. 肝硬変

49-P-076 肝臓の機能不全によって起こる病態でないのはどれか。

1. 黄疸
2. 腹水
3. 出血傾向
4. 意識障害
5. 高コレステロール血症

49-P-077 移植後の拒絶反応について正しいのはどれか。

1. 自家移植で生じる。
2. T細胞が活性化される。
3. I型アレルギー反応である。
4. 抗体が移植片の細胞を損傷する。
5. 宿主と移植片の HLA が一致すると起こりやすい。

49-P-078 弟や妹が生まれたときに、子供が指しゃぶりを再び始めるのはどれか。

1. 解離
2. 退行
3. 代償
4. 否認
5. 同一化



49-P-079 「治る見込みがないのにリハビリテーションを続けるのはとても苦しいです」という訴えへの共感的な対応はどれか。

1. 「それは誤った考えですね」
2. 「もう少し頑張りましょう」
3. 「つらく感じているのですね」
4. 「なぜそのように思うのですか」
5. 「続けることにより効果が現れてきます」

49-P-080 「1本の実のなる木を描いてください」と指示する検査はどれか。

1. バウムテスト
2. P-Fスタディ
3. Rorschachテスト
4. Trail-making test (TMT)
5. Behavioral inattention test (BIT)

49-P-081 Rogers によるカウンセリングの方法はどれか。2つ選べ。

1. 自由連想
2. 抵抗分析
3. 来談者中心
4. 非指示的態度
5. 系統的脱感作法

49-P-082 IADL に含まれるのはどれか。2つ選べ。

1. 移乗
2. 買い物
3. 整容
4. 洗濯
5. 排泄

49-P-083 頸髄損傷患者でみられる脊髄ショック期の徴候はどれか。

1. 温痛覚解離
2. 腱反射亢進
3. 痙性四肢麻痺
4. 自律神経過反射
5. 肛門括約筋反射消失

49-P-084 一次予防はどれか。

1. 再発予防
2. 健康増進
3. 早期発見
4. 重症化予防
5. リハビリテーション

49-P-085 心不全で正しいのはどれか。

1. 左心不全では肝腫大をきたす。
2. 左心不全では頸静脈怒張がみられる。
3. 右心不全では肺動脈圧が上昇する。
4. 右心不全では下腿浮腫がみられる。
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチドが低下する。

49-P-086 女兒に多いのはどれか。

1. Perthes病
2. 先天性内反足
3. 大腿骨頭すべり症
4. Osgood-Schlatter病
5. 発育性股関節形成不全

49-P-087 骨折の名称と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. Barton骨折——尺骨遠位端
2. Bennett骨折——第2中手骨基部
3. Colles骨折——上腕骨骨幹部
4. Monteggia骨折——橈骨骨幹部
5. Smith骨折——橈骨遠位端

49-P-088 絞扼性神経障害と神経の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 梨状筋症候群 ——坐骨神経
2. 肘部管症候群——正中神経
3. Guyon管症候群——尺骨神経
4. 円回内筋症候群——尺骨神経
5. Hunter管症候群——大腿神経

49-P-089 Parkinson 病の症状、徴候について正しいのはどれか。

1. 企図振戦
2. アテトーゼ
3. Myerson 徴候
4. ミオクロニー発作
5. 折りたたみナイフ現象

49-P-090 GMFCS(grows motorfunction classification system)extended and revised について正しいのはどれか。

1. 6つのレベルがある。
2. 環境要因を除外している。
3. 4つの年齢帯に分けて記載がある。
4. 脳性麻痺の重症度の判別に使われる。
5. 脳性麻痺児を臥位と立位の能力から分類する。

49-P-091 間質性肺炎の特徴はどれか。

1. 単純エックス線写真ですりガラス陰影
2. 肺コンプライアンスの上昇
3. 水泡音の聴診
4. 横隔膜低位
5. 湿性の咳嗽

49-P-092 腸重積の特徴はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 左側結腸に多い。
3. 腸雑音は亢進する。
4. 腸管の血流は保たれる。
5. 鼠径ヘルニアの嵌頓で起こる。

49-P-093 溶連菌感染と関連があるのはどれか。

1. 猩紅熱
2. ガス壊疽
3. 帯状疱疹
4. 手足口病
5. 急性灰白髄炎

49-P-094 糖尿病に合併しやすい疾患として誤っているのはどれか。

1. 白内障
2. 尿路結石
3. 脳血管障害
4. 虚血性心疾患
5. 閉塞性動脈硬化症

49-P-095 嚥下障害の病態と用いられる介入の組合せで正しいのはどれか。

1. 口腔期障害——粘性の高い食物
2. 鼻咽腔閉鎖不全——Shaker(シャキア)法
3. 喉頭挙上筋筋力低下——間欠的バルーン拡張法
4. 咽頭機能の左右差——頸部回旋
5. 輪状咽頭筋弛緩不全——軟口蓋挙上装置

49-P-096 統合失調症の予後について正しいのはどれか。

1. 男性の方が良い。
2. 若年発症の方が良い。
3. 陰性症状が優位な方が良い。
4. 緩徐に発症したものの方が良い。
5. 発症から治療開始までの期間が短い方が良い。

49-P-097 欠伸発作について正しいのはどれか。

1. 知的障害を伴う。
2. チアノーゼを伴う。
3. 学童期の発症が多い。
4. 部分発作に分類される。
5. けいれんは一側上肢から全身に広がる。

49-P-098 アルコールによる精神障害についてどれか。

1. 振戦せん妄は酩酊中に生じる。
2. Wernicke 脳症はビタミン B12 の欠乏による
3. 急性中毒は長期のアルコール摂取により生じる。
4. アルコール依存症の治療には集団療法が有効である。
5. アルコール摂取を続けると、少量の酒でも酔いやすくなる。

49-P-099 PTSD(外傷後ストレス障害)について誤っているのはどれか。

1. 過覚醒がみられる。
2. アルコール乱用の要因となる。
3. 小さな物音にも敏感に反応する。
4. 症状は外傷後1か月以内に改善する。
5. 原因となる出来事は、ほとんど誰にでも大きな苦悩を引き起こす。

49-P-100 うつ病への対応として適切なのはどれか。

1. 重要な事柄についての判断を促す。
2. 休養の重要性について説明する。
3. 自殺の可能性は話題にしない。
4. うつ病の診断は伝えない。
5. 気晴らしを推奨する。